



広報みやげ

今月の人口
人口 3,305人
世帯 1,685世帯
(2月1日現在)
編集 三宅村総務課
☎ 03 (5320) 7824

三宅村長選挙開票結果

順位	立候補者名	性別	年齢	党派	新・現・元の別	得票数
1	平野 祐康	男	55	無所属	新	1,811
2	梅田 孝之	男	66	無所属	新	280
3	くわはらみのる	男	69	無所属	新	42

*立候補者名は通称届出名による *年齢は投票日現在の年齢。

「早期帰島」を第一目標に

三宅村長 平野 祐康



2月15日に執行された三宅村長選挙にて、村民の皆さまから多くのご支持をいただき、翌16日より三宅村長に就任いたしました。

村長という重責と数多い課題を目前にし、身の引き締まる思いで2週間がすぎようとしています。

私に託された4年間は、さらに多難が予想されますが、村民の皆さんとともに立ちふさがれる難問を一つひとつ乗り越えて行きたいと考えておりますので、これからさらなるご支援とご協力をお願いいたします。

さて、私の選挙公約は「早期帰島・早期復旧・早期復興」を目標に掲げました。

「帰島」という目標を前に

前村長 長谷川 鴻



村長選終わる

当日の有権者2千785人

長谷川村長の辞職に伴う三宅村長選挙が平成16年2月8日告示、2月15日に投票、即日開票され、新村長として平野祐康氏が選出されました。

当日の有権者数は2千785人、投票者数2千211人、うち有効投票数2千133票、投票率は79・75%でした。開票結果は別表の通りです。

今後の取り組みについて一端を申し述べました。が、さきに述べましたように多くの課題がございます。その課題につきましても行政の役目・議会の役目・村民の役目、それぞれの役目があります。私もその役目を再認識し、若さという動力を駆使し、議会との連携を図り、村職員とともに早期帰島に向けて全力で努める所存でございます。

で、村民の皆さまのご支援とご協力を重ねてお願いいたします。就任のあいさついたします。

この三宅島始まって以来のみどころとも言える状況下において、私がここまでやってこられたのは村民の皆さまからのご支援とご理解そして何よりもふるさと三宅島に対する皆さまの深い愛情によるものにはかならないと思っております。

在職3年半あまりと短い間ではありましたが、皆さまからお寄せいただいたご厚情に改めて感謝申し上げますとともに、皆さまのご健康と、この災害を乗り越え、ふるさと三宅島が以前にも増して発展することを衷心より祈念いたしまして、退任のあいさつとさせていただきます。

三宅島の「写真情報」

今回の写真はホームページ上で12月10日から25日まで掲載した写真です。この期間は災害復旧状況と島内の様子について掲載しました。

①新しい水道施設(膜ろ過処理施設12月9日写す) 大路水源の水質変化に対応するため膜ろ過による浄水処理施設を建設中です。

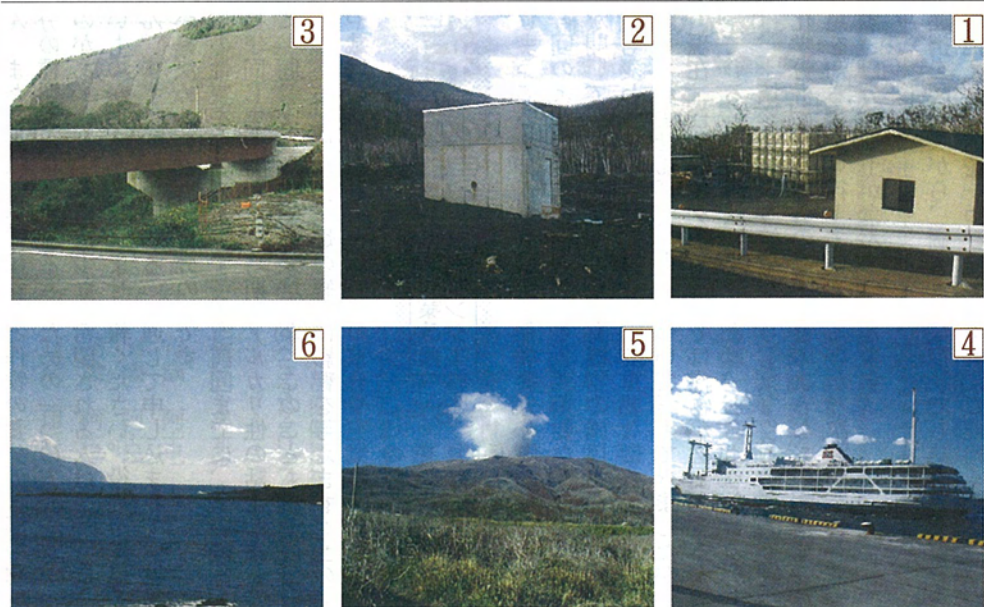
②金層水源の防護(12月9日写す) 砂防ダム内にいる金層水源をたい積する土砂から守るため新たにコンクリートの部屋を設けました。

③平山橋の復旧(12月9日写す) 泥流による再被災を避けるため沢筋から離れた場所に橋を架け、都道の復旧をしています。

④定期船入港(12月14日写す) 鯖ヶ浜港に入港する定期船。この日、神着地区の滞在型帰島参加者も乗せ出航しました。

⑤雄山(12月16日写す) 伊豆地区からの雄山です。白色の噴煙が火口上100メートルまで上がっていました。

⑥三池港(12月17日写す) サタドー岬から見た三池港です。



三宅村議会議員選挙開票結果

順位	立候補者名	性別	年齢	党派	新・現・元の別	得票数
1	福沢しんや	男	68	無所属	新	250
2	高松ひろのぶ	男	66	無所属	現	189
3	寺本恒夫	男	68	日本共産党	現	183
4	さくまたつみ	男	41	自由民主党	現	175
5	平野たつり	男	64	無所属	元	170
6	谷としふみ	男	40	無所属	現	163
7	山田かずよし	男	76	無所属	現	161
8	浅沼功一郎	男	66	公明党	現	156.506
9	寺沢晴男	男	66	無所属	現	155
10	浅沼のりひろ	男	66	無所属	現	152.493
11	山田悦太郎	男	54	無所属	元	136
12	井沢よしお	男	57	無所属	現	123
13	早川さきと	男	53	無所属	新	118
14	梅田政男	男	75	無所属	現	48

*上位第10位までが当選者 *立候補者名は通称届出名による *年齢は投票日現在の年齢 *得票数が小数のものは按分による。

三宅村では平成16年度職員採用試験を次の通り実施します。

①募集職種 消防士および看護師。
②採用人数 いずれも若干名。
③採用予定時期 平成16年4月1日。
④受験資格 次の条件をすべて満たす人が受験できます。

▽活字印刷文による出題に対応できる人。
▽日本国籍を有する人。
▽地方公務員法第16条の欠格事項に該当しない人。
▽消防士については平成16年4月1日現在、28歳以下の人。学校教育法による高校および大学を卒業した人、または平成16年3月に卒業見込みの人。

三宅村の職員を募集

⑤試験の方法 第1次試験 書類として▽就職申込書兼受験票1部(配布は総務課庶務係)▽履歴書1部(自己PR書類など添付可)▽健康診断書1部(健康であることが証明されている程度で可。健康診断書は試験当日まで可)。

⑥試験日、試験会場および合格発表日 試験日 平成16年3月13日(土)試験時間 午後5時30分～午後7時30分

新村議10人決まる 投票率は79.71%

任期満了に伴う三宅村議会議員選挙が三宅村長選挙と同日程で執行され、新たに10人の議員が選出されました。

村議会議員選挙の投票総数は2千200票のうち有効投票数は2千180票、投票率は79.71%でした。

各候補者の得票数は別表の通りです。

第1臨時会開く
平成16年1月21日、第1回三宅村議会臨時会が開会され議案1件が原案通り可決されました。

【補正予算】
▽平成16年度三宅村一般会計補正予算(第6号)

「生活相談」窓口から

「福祉関係連絡会」を設置

昨年2月に三宅村・三宅支庁で設置した生活相談窓口も早いものでもう1年がすぎてしまいました。これはたは郵送とします。持参、郵送ともに後日、受験票を発送しますので、3月11日までに到着していない場合は(3)の申込先に照会してください。電話、FAXおよび電子メール等では申し込みできません。

(3)申込先、問い合わせ先 三宅村新居総合事務所総務課庶務係。〒163-8000 東京都庁第一本庁舎南41階03(5320)7820。

(4)申込期間 平成16年2月16日(月)～平成16年3月5日(金)。郵送による場合は平成16年3月5日(金)の必着です。持参する場合は、土曜を除いた午前9時から午後5時までです。

1. 相談受付状況(平成16年1月31日現在)

	生活に関する相談	その他の相談	合計
2~12月	330件	135件	465件
1月	17件	26件	43件
合計	347件	161件	508件

2. ミニ懇談会の開催状況(平成16年1月31日現在)

	回数	人数
4~12月	20回	252人
1月	3回	32人
合計	23回	284人

屋根修繕調査(平成16年1月31日現在)

項目	地区	神着	伊豆	伊ヶ谷	阿古	坪田	計
調査受付		208	126	89	242	334	999
調査済		208	125	89	241	332	995
被害有		178	109	79	205	281	852
修繕希望件数		173	105	77	182	267	804
修繕完了件数		186	103	90	189	299	867

屋根の被害調査は随時受付

調査依頼は ☎03-5320-7844

三宅村 新居総合事務所 住宅係 施設整備担当課

屋根の修繕は三宅島職工組合

問い合わせ ☎042-529-1055

受付は土日祝日を除く09:00~17:00

「土壌肥料」の話

中央農業改良普及センター

作物と栄養と施肥
畑にたい積した泥流や火山灰を取り除き、雑木や雑草を抜き去り、畑をきれいにした後、有機物を土に混ぜるときに同時に考えなければならぬことは、これから畑で何を作りたいか、質のよいものをたくさん収穫するために必要な養分をできるだけ吸収しやすいうように土に混ぜておくこと

【(8)】
を吸収する根の生育に大いに関係して、どのよう

ん。また、畑によっては養分の種類により多すぎるものがあったり、非常に少ないものがあるかもしれません。まずは何を栽培するのかを決めるとともに自分の畑の性質を知ることです。前回は、土の酸性・アルカリ性の話をしました。このことも養分の吸収に影響を与えます。土の中の水分や空気の状態も吸収の難易や、養分を吸収する根の生育に大いに関係して、どのよう

な養分を施用するために、今回のように3年以上も間も大変重要な条件であり、有機物の施用がそのために大変重要な働きをするかについて考えてきましたが、では作物が必要とする養分とは、どのようなものがあり、どのような働きがあり、どのようなもので補給できるのか、次回から述べていきます。

な相談でも結構ですのでお気軽にご連絡ください。☎03(5320)7858・☎03(5320)7873。

「雪国体験学習」開く

秋田県 2年生13人が参加



交流会が行われた「ふれあいプラザ」で記念撮影

三宅村ふるさと人材育成事業の一環として毎年、秋田県増田町を訪問して行われる「雪国体験学習」は今年で13回目となりました。今年度は新年になっても雪が少なくスキー場のオープンができるのか、また、スキー体験をさせられるのか心配されましたが、「雪国体験学習」の出発日が近づくと雪が降り、無事にスキー体験をすることができました。

1月10日から12日までの日程で行われた「雪国体験学習」には中学2年生13人が参加し、スキー体験学習

三宅村ふるさと人材育成事業の一環として増田中学校生徒との交流会も行われました。交流会では、増田町の紹介やレクリエーションを通じて楽しいひとときを過ごしました。

特にスキー体験学習(スキースクール)では、インストラクターと増田中学校生徒のマン・ツー・マンの指導でスキーの腕前はめきめき上達し、帰るころには生徒全員が全コースを滑れるようになりました。

2日間スキー体験をしましたが、1日目は日差しも暖かく、少しスキーをするのが温まる陽気でしたが2

2日目にはあいにくの天候となり、ふぶいてしまいました。雪国ならではの天候の変化を肌で体験することもでき、生徒も島の冬のの違いを感じたのではない

いでしょうか。

交流会ではすっかり打ち解けた生徒たちは、別れを惜しむとともに、夏の再会を誓い合い、12日夕方無事に自宅に帰りました。

避難中でも相談を受けます

平成16年1月1日付で新たな民生児童委員の委嘱がありました。今までご尽力いただいた鈴木則子委員に代わり、宮田信之さんが委嘱されました。宮田委員の連絡先は次のとおりです。

住所 〒186-0012 国立市東2-3-2泉2丁目アパート5-603 ☎042(571)5905

避難中ではありますが、全15人の委員で皆さんのご相談をお受けします。

人事異動(12月31日付)
【退職】田中純子(保健福祉課福祉係)

平成16年3月となりました。年度単位で区切る学校にとっては、平成15年度最終の月となります。

そこで、三宅村立小学校の1年間を振り返ってみました。

1学期には家庭訪問を行いました。多摩地区や都内など各地区をそれぞれ担当を決め、あらかじめ電話連絡をして都合を聞きながら訪問し、子どもたちの学校の様子、生活の様子を話し合いました。

それぞれの学校で、長引く避難生活の中でもがんばっている子どもたちの様子を聞き取ることができました。中には友達のことや進路のことで悩みを話してくれる家庭もありました。

三宅村立小学校では訪問のときだけでなく、いつでも保護者や子どもたちから情報を集め、また、相談に乗っています。

時期を同じくして「第6回三宅島民ふれあい集会」が港区の芝浦小学校でありました。久しぶりに再会することができた友達を見つけて喜ぶ姿が多く見られました。

6月、「小中高合同運動会」では、親子ともどもがんばることができました。

8月には、「ふるさとふれあい体験」(三宅島への一時帰宅)もあり、久しぶりの海の散策

では潮の香りに感動しました。

10月には、「江ノ島・鎌倉全校遠足」がありました。広い海を見たり、大きな大仏に驚いたりしました。

11月、「小中高合同文化祭」が開かれました。子どもたちの心こもった作品が多く展示されました。体験コーナーもあり、いろいろなものをつくり楽しむことができました。

同じ11月には「第7回島

民ふれあい集会」がありました。三宅村立小学校が開いたテントには、保護者や小学生はもとより、親せきの方や、近所の方、お年寄りの方々も参加もあり、たくさん島の人たちと、多くの子どもたちが三宅村立小学校の職員と交流することができました。

3学期にはスケート教室も実施しました。高田馬場のスケートリンクには、たくさん子どもたち、保護者が参加しました。

海に囲まれた三宅島で育った子どもたち、やはり氷

の上は苦手かと思いましたが、昨年実施しているのと同じように上手に滑ることができるようになりました。

避難生活の中で、いろいろな体験ができることは、子供たちにとってさまざまな力をつけるよい機会とも言えます。ピンチをチャンスととらえる前向きな姿勢も大切かと思えます。

このようにいろいろな交流事業を通して、それぞれの転出先の児童が集まり、三宅島の小学校への思いや、三宅島児童同士のきずなを強めることができました。

職員も三宅籍の児童が通っている都内の学校に勤務

し、授業等も行いながら島に備えてさまざまな準備をしています。三宅島に帰ったらすぐに教育活動が再開できるように、新しい教育指導計画も作っています。

こうして積み上げてきた成果が生かされ、この4月から始まる新年度が希望に満ちた年になることを願っています。

三宅村学校便り

(33)

小中高合同運動会 1年間を振り返って

10月には、「江ノ島・鎌倉全校遠足」がありました。広い海を見たり、大きな大仏に驚いたりしました。

11月、「小中高合同文化祭」が開かれました。子どもたちの心こもった作品が多く展示されました。体験コーナーもあり、いろいろなものをつくり楽しむことができました。

同じ11月には「第7回島

義援金配布等状況調べ

平成16年1月31日現在(単位円)

区分	東京都分	三宅村分	利息	計
収入	1,750,000,000	917,104,546	590,060	2,667,694,606
配布	1,957,808,000			1,957,808,000
残額	709,296,546		590,060	709,886,606

義援金ありがとうございました。(敬称略)

トウキョウトマチダシリツマチカ
カタシマ
カドタニ メグミ
三小田 和子
矢野 美智子
日本の響き大地の舞実行委員会
平田 せい子
相馬 直子
サトウ キミヒコ
(株)興起測量設計事務所
中島 光代
スナック祐 平井 祐子

森重 千明
広川 孝子
赤橋 圭子
大田原 恵子
伊木 律子
池田 聡
あしながおじさん有志会
柳津小学校
東京都大島町立北の山小学校
ヨネカワ ダイジロウ
水越 月子
吉田 友梨

吉田 将康
吉田 敦子
藤田 豊
佐藤 公彦
東京都生活衛生同業組合女性部長 山田 高子
奥村 真一
稲福 恭雄
三芳北永井郵便局
笹川 丈夫
NTT労組埼玉退職者の会
(株)セキレイシヤ
(名簿は平成16年1月31日現在)

小曾根 杏ちゃん(女) 1/28 坪田
(父) 倫 身さん
(母) 志 保さん



三宅の子どもたち

吉澤 勇真くん (2歳2カ月)
吉澤 裕さん、真紀さんご夫妻(神着)のお子さんです。
元氣いっぱい保育園に通っています。

このコーナーでは未来を担う三宅島の子どもたちを紹介しています。掲載にご協力いただける方は保健福祉課 保健係 ☎03(5320)7827までご連絡ください。